

巨大ミナモ 描きました



松浜保育園の園児と保護者200人が「親子でモノづくり・夢づくり」と題して、園庭にちぎり絵の巨大な「ミナモ」を完成させました。始めに各教室に分かれて、1枚の絵を分割したA3サイズ108枚のパーツ

に、ちぎった折り紙を丁寧に貼り付けていきました。できたパーツを集め、繋ぎ合わせて4メートル四方の巨大絵が完成。参加者全員で絵を取り囲み、ミナモと一緒に記念撮影して完成を祝いました。

あんな事、こんな事

関市イメージキャラクター
「関*はもみん」



獅子舞で観客を魅了

関市無形民俗文化財の獅子舞大会が関市文化祭の一環で開催され、市内の各保存会が「朝顔日記」や「傾城阿波の鳴戸(上)」、「忠臣蔵三段目」などを演じ、練習の成果を披露しました。今年から獅子舞を習い始め、子役を務めた児童も、初めての舞台を堂々と演じ切りました。約600人の来場者は伝統の技の素晴らしいさを実感し、演者に大きな拍手を送っていました。

「紋紗」の世界を紹介

昨年、関市で初めて人間国宝に認定された染織家の土屋順紀さん(虹ヶ丘北)の講演会がわかさ・プラザで開かれ、「染と織」の魅力が語られました。地元の草木の染料にこだわり、美しい郷土の自然を作品に織り込む土屋さんの「紋紗」の世界を映像などで紹介。これまでの人生の歩みをはじめ、制作に入ると約1カ月半は家に閉じこもり集中するという制作秘話などを話され、参加者は熱心に聞き入っていました。





平和への思いと喜びを歌う

今年で2回目となる手作りの平和の祭典「ピースベルフェスティバル」が洞戸小学校で開かれました。児童生徒による鼓笛隊合奏や合唱、高賀山太鼓、ハンドベル、バンド演奏など約200人が参加。洞戸地域から、戦争なき世界へ向けて、音楽・文化の力で平和の尊さ、生きていることの素晴らしさを元気いっぱい全国へ向けて楽しく発信しました。

防火の意識高めます

田原小学校で「こども防火管理講習会」が開かれ、5年生児童が参加しました。中濃消防組合が、防火に対する知識を身につけてもらおうと市内小学校で開催。署員から防火管理の説明を受けた後、消火器や屋内消火栓の取り扱い、立ち入り検査の方法について学習しました。消火器放水体験では、児童が標的に向かって上手に水を当てていました。約1時間の講習を受け、最後に修了証が手渡されました。



クアドリーリャを踊りませんか!

関市国際交流協会主催で、初めてブラジルダンス講座が開かれました。ブラジルの「フェスタ・ジュニーナ(6月祭)」というお祭りの中で踊る、結婚式を舞台にした楽しいフォークダンス「クアドリーリャ」に挑戦。参加者は、陽気なリズムに合わせて、熱心に振り付けを覚えていきました。ここで学んだ成果を11月27日(日)開催のSEKIいきいきフェスタ2011で披露する予定です。

釣り糸や針から動物を守れ

10月上旬、岐阜県獣医師会中濃支部が中池で釣り糸や釣り針などの回収ボランティアをしました。放置された釣り糸などで傷つく野生鳥獣を保護しようと20年以上継続して活動しています。会員ら約40人が、周囲約1.5キロの中池をじっくり見回り、護岸やほとりの草むらなどで、細い糸や針、釣り用のルアーなどを慎重に拾っていき、環境整備にも努めました。



いぼね話



「あと319日」。皆さんはこの数字は何かわかりますか。誰かの誕生日?という意味ではないですよ(笑)。関市民の皆さんなら当然ご存じですよ。この数字は、来年開催のぎふ清流国体までの日数(平成23年11月15日現在)を表しています。

先日、「ぎふ清流国体・清流大会」の前大会である「おいでませ!山口国体・山口大会」が開幕し、山口県から岐阜県へバトンが渡されました。いよいよ次の番だと実感が沸いてくる瞬間でした。

わが関市でも6種目の競技が開催されますが、競技だけでなく関連イベントにも目を向けてみると面白いですよ。お祭りや行事の際に、大人気の大会キャラクターのミナモが登場すると、大人も子どもも一気にハイテンション!運動不足の私としては、ステージ上のあのミナモのキレキレの動きがうらやましい限り。愛用のミナモタオルを首に巻いて各イベントに参加しましたが、ついていくのに必死でした。これからも関連イベントが多数開催されます。ぜひ、皆さんもイベントに参加して本大会に向け一緒に盛り上げていきましょう。